CircleKSunkus

WAKU WAKU！株主通信

株式会社サークルKサンクス

2009年2月期

2008年3月1日～2009年2月28日

［証券コード：3337］

CONTENTS

01 株主の皆さまへ
02 2010年2月期の新たなチャレンジ
03 もっとチャレンジ!!
05 投資家の視点
08 社会的責任への取組み
09 要約財務諸表
14 コンビニエンスストア業界比較
15 株主様アンケート結果のご報告
17 株主還元策
18 株式情報／会社情報

株主の皆さまへ

代表取締役社長

中村元彦

株主の皆さまには、平素より当社へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当期は「挑戦と役割」を経営方針とし、「Change（チェンジ）」のキーワードのもと、様々な挑戦、変革（Change）を実践し、着実に成果を上げることができました。売上面ではtaspo（タスポ）カード対応の成人識別たばこ自動販売機の導入による追い風もありましたが、昨年10月に立ち上げた新パスタブランド「rubetta（ルベッタ）」に加え、デザート「Cherie Dolce（シェリエドルチェ）」、パン「まごころ仕込み おいしいパン生活」の当社3大ブランドの好調も収益改善に寄与しました。この結果、既存店売上高前年比は4.1%増と大きく前期を上回りました。また、新店日販は45万5千円と前期を4万6千円上回り、「店舗の質向上」を実現することができました。当期は新システム・サービスへの大型投資に伴う費用が増加しましたが、売上好調や費用対効果の徹底による経費削減の結果、増収増益を達成することができました。なお、これらを踏まえ、昨年4月に発表した3ヵ年計画をP.7の通り修正いたしました。

次期は引き続き当社の看板商品である3大ブランドのさらなる育成を行い、主力商品の強化を図るほか、立地条件に応じた品揃えとして「フライヤー」の導入を加速してまいります。また、ユニーグループのシナジーを発揮したグループPB（プライベートブランド：自主企画）商品として、価格訴求型「e-price」や高付加価値型「＋KACHIAL（カチアル）」の導入を拡大します。さらに、消費低迷・デフレといった社会情勢に対応するため、500円価値のお弁当を380円でご提供する「元気応援弁当」を販売する一方、高品質・高付加価値の商品を併せて販売することで、二極化するお客様のニーズにお応えしてまいります。サービス面では、現在導入を進めている店頭マルチメディア端末「カルワザステーション」で3月よりスポーツ振興くじ「toto」の取扱いが始まっており、今後も魅力あるコンテンツを投入してまいります。

次期はこれまで以上に消費の冷え込みが予測され、お客様の低価格志向、業種業態を超えた競争の激化など、当社を取巻く環境はますます厳しくなるものと考えています。このような中、当社は次期の経営方針である「挑戦と行動」のもと、常に新しいことに「挑戦」、そして「行動」し、業績の向上に努めてまいる所存です。株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 010年2月期の新たなチャレンジ

生活応援企画

消費低迷などにより影響を受けている弁当類の売上梃入れ策として、4月14日から「元気応援弁当」を展開しています。「元気応援弁当」は500円近い価値のお弁当を380円でご提供するお客様還元お買得弁当です。4月より6ヵ月間、毎月月替わりで新商品を発売します。また、弁当と併せて、PB商品の茶系飲料2アイテムを100円で、炭酸飲料1アイテムを115円で展開しています。これらの生活応援企画でお客様の低価格志向への対応を図ってまいります。

「元気応援弁当」売価：380円（税込）

「オリジナル緑茶
500ml」
売価：100円（税込）

「オリジナル烏龍茶
500ml」
売価：100円（税込）

フライヤーの導入を拡大

立地に対応した品揃えを強化するため、当期より導入を開始した「フライヤー」ですが、新たな売上作りとして、2010年2月期末には約1,000店舗、2011年2月期末には約2,000店舗にまで導入を拡大する計画です。フライヤーを使用することで、できたての美味しさをご提供し、カウンターフーズの強化につなげてまいります。

福岡県へ出店

当社は、今夏を目処に福岡県への店舗展開を開始します。福岡県は2011年に九州新幹線が全線開通する予定で、将来有望なエリアです。今後、早期に店舗ドミナント構築を図り、すでに鹿児島県と熊本県に出店しているエリアフランチャイザーの南九州サンクス株式会社とともに、九州全体での知名度の向上を目指します。

無駄カイゼンプロジェクト

当社では2009年2月期下期より「無駄カイゼンプロジェクト」を立ち上げ、コストに対する全社的な意識改革や費用対効果の追求により、無駄の削減に徹底的に取組んでいます。このプロジェクトでは、部単位で「ムダサク部会」を設置し、「止める」「減らす」「変える」の3つの観点から業務効率の改善や無駄削減意識の徹底に取組んでいるほか、2010年2月期からは「購買部会」を設置し、電子入札の導入などにより購買コスト削減の取組みも進めています。2010年2月期の経営方針のキーワードは「変える、捨てる」です。無駄カイゼンプロジェクトだけに限らず、今後も過去の考え方を捨て、やり方を変えて、常に新しいことに挑戦してまいります。

もっとチャレンジ!!

次期（2010年2月期）は、3大ブランドのさらなる育成強化を進めるほか、新タイプのサラダをご提案してまいります!!

和のドルチェ登場。

オリジナルデザート「Cherie Dolce（シェリエドルチェ）」は、2007年11月のブランド立ち上げ以来、テレビCMの放映や加盟店スタッフのアイデアを商品化するなど、加盟店と本部が一丸となって当社の看板ブランドとして育ててきたことにより、当期は売上高前年比125%と前期を大幅に上回ることができました。さらにお客様から支持されるブランドを目指し、2009年3月にはシェリエドルチェの新しいラインナップとして「和のドルチェシリーズ」を発売しました。糖分を抑えて上品な甘さに仕上げたほか、北海道産の大納言小豆や生クリームを使用するなど、素材や製法にもこだわった本格派の和風デザートです。今後もトレンドの発信基地を目指し、新たなスイーツにチャレンジしてまいります。ご期待下さい!!

「もっちり生どら 小倉&クリーム」売価：126円（税込）　「クリームあんみつ」売価：260円（税込）

春夏にピッタリ! “冷製パスタ”はいかがですか?

厳選した素材を使用して、とことん味にこだわった本格派のパスタブランド「rubetta（ルベッタ）」は、2008年10月のブランド立ち上げ以来、お客様にご好評をいただいており、当期は売上高前年比122%と好調に推移しました。3月には、ブランドの顔として定着しつつあるプレミアムパスタの新機軸商品として、「旬」をキーワードにした「冷製パスタ」を発売しました。また、暑くなるこれからでも食欲をそそる和風パスタは、素材にこだわったソースにリニューアルし、さらにおいしさがアップしました。

「冷製パスタ 生ハムのバジルクリームソース」売価：460円（税込）
爽やかなバジルの風味が効いた、クリーミーでコクのあるバジルクリームソースの冷製パスタです。

旬に合わせた商品づくり

冬にはこってりした料理を好んで食べていたのに、春夏に入るとさっぱりした料理が魅力的に映るように、お客様の嗜好は季節の移り変わりに伴い大きく変化します。オリジナルパスタ「rubetta」では、季節によって変化するお客様のニーズにお応えするため、春夏向けのソースやだしを使用したパスタや、暑い季節にもさっぱりと召し上がっていただける「冷製パスタ」などの新しいメニューを続々と発売しています。

これからも「一番身近なパン屋さん」を目指します!

「まごころ仕込み おいしいパン生活」から、パンの売上が大きく伸長し始める3月にあわせてこだわりの「ドーナツシリーズ」を発売しました!さっくりと歯切れの良いデニッシュ系のほか、ザクッと歯ごたえのあるハード系、ふんわりと口溶けの良いイースト系など、豊富に品揃えしています。また、5月には当社オリジナルのマーガリンを使用し、食感にこだわったデニッシュやクロワッサンを発売しました。口溶けの良さとさっくりとした食感が自慢の逸品です。

季節で変わる商品の売れ筋

1年間で売上が最も伸長する月は商品の分類ごとに違います。例えばおにぎりは、ゴールデンウィークなどの行楽需要にあわせて伸長しますが、最も売上が伸長するのは夏真っ盛りの8月です。また、パンは2月から徐々に売上が上昇し始め、4月に年間ピークを迎えます。私たちが何気なく購入しているつもりでも、1年間という期間で見ると1つの大きなトレンドを作っていることがわかります。「今月に一番売れる商品は何だろう?」とサークルK店・サンクス店をご覧いただくのも楽しいかもしれません。

「野菜のある毎日。」をサークルKサンクスで!!

「野菜をおいしく・バランスよく食べる!!」をコンセプトに、サークルKサンクスのサラダを5月にリニューアルしました!「野菜のある毎日。」というキャッチコピーとロゴデザインの「Vege Phyto(ベジ ファイト)」という言葉には、「元気な毎日を応援する」という思いがこめられています。今回のリニューアルでは、これまでのコンビニにはなかった新しいタイプのサラダが登場!ご飯などの主食と主菜、副菜(野菜)が一度に召し上がれる一食完結型の「まぜまぜスタイル」に加え、忙しい時間でも食べる直前に振るだけで召し上がれるように、野菜とドレッシングとなる味付き寒天を層状にした「ふるふるスタイル」を新たに発売しました。当社ならではのバラエティ豊かな品揃えをすることで、お客様の様々な生活シーンに健康サラダをご提案してまいります。

まぜまぜスタイル
「タコライスサラダ」
売価:330円(税込)

ふるふるスタイル
「カラフルサラダ」(左)
「9品目のスパイシーサラダ」(右)
売価:230円(税込)

「Vege Phyto」とは?

「Vege Phyto(ベジ ファイト)」は、「活気付ける」という意味のラテン語「Vegeto(ベジート)」と、ギリシャ語が語源の「野菜」を表す「Phyto(ファイト)」を合わせた造語です。野菜や野菜の色素が持つ力(Phyto Color)でお客様の元気な毎日を応援してまいります。

(注)文中の数字は店あたり前年比です。

1 既存店売上高前年比

Q.当期（2009年2月期）の既存店売上高前年比は?

既存店売上高前年比 ↗4.1%増

当期の既存店売上高前年比は4.1%増と大幅に伸長しました。taspo（タスポ）カード対応の成人識別たばこ自動販売機の導入に伴うたばこの売上伸長や客数増加に加え、当社の3大ブランドであるデザート「Cherie Dolce」、パスタ「rubetta」、パン「まごころ仕込み おいしいパン生活」の強化・育成が実を結び、好調に推移したことも寄与しました。

Q.次期（2010年2月期）の見通しは?

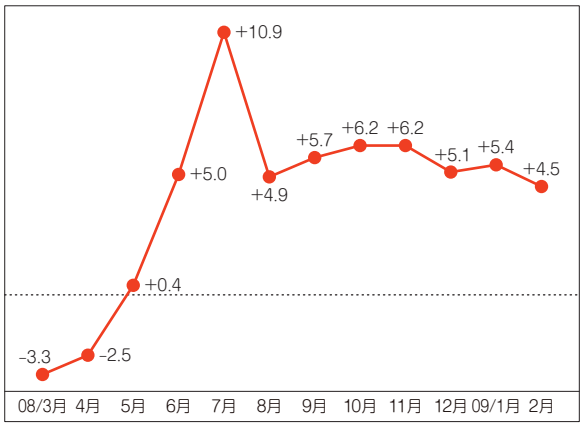
既存店売上高前年比 ↗0.5%増を計画

次期は、当期に導入が完了した店舗情報システムを有効活用して発注の精度向上を図るほか、フレンドリーな接客を特に重視しお客様満足度の向上に取組みます。商品面では、当社の3大ブランドのさらなる育成に加え、サラダにスポットを当てた惣菜の強化のほか、高品質のお弁当を割安価格でご提供する「元気応援弁当」を展開するなど、お客様のニーズにあった商品を開発してまいります。また、8月までに全店（一部店舗を除く）への導入を計画している店頭マルチメディア端末「カルワザステーション」では、3月のスポーツ振興くじ「toto」「BIG」の販売開始を皮切りに、今後も様々なコンテンツの導入を進めてまいります。以上のような取組みを踏まえ、次期の既存店売上高前年比の計画を0.5%増といたしました。次期も景気悪化や消費低迷による影響は大きいものと予想されますが、お客様のニーズにお応えするための様々な挑戦を継続してまいります。

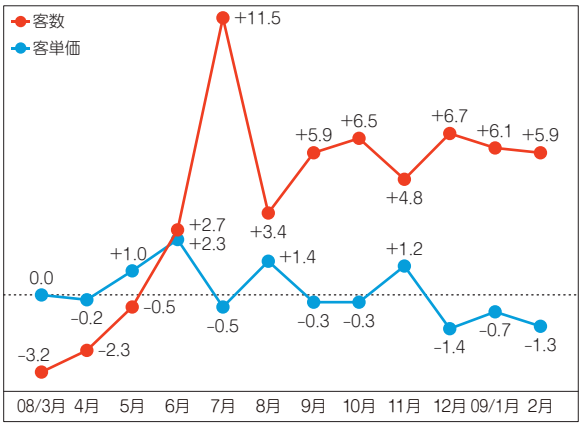
? 「taspo（タスポ）効果」とは?

taspo（タスポ）カード対応の成人識別たばこ自動販売機は、未成年者の喫煙防止対策の一環として、2008年3月から順次導入が始まり、7月には全国で稼動を開始しました。これに伴いコンビニエンスストアでのたばこの売上は7月以降継続して高い水準で推移しています。また、これによって客数も大幅に増加したため、新たに増えたお客様によるいわゆる“ついで買い”効果により、缶コーヒーや菓子類、カウンターフーズなどのたばこ以外の商品も伸長しました。

既存店売上高前年比 月次推移
（単位：%）



既存店客数・客単価前年比 月次推移
（単位：%）



2 出店および閉店

Q. 当期（2009年2月期）における出店および閉店の状況は?

新店日販、前期比4万6千円UP

当期は、引き続き店舗の「質」を最優先した出店を進めた結果、新店日販は45万5千円となり、前期に比べ4万6千円アップと大きく改善を図ることができました。また、当期は265店を出店し、255店を閉店した結果、2009年2月期末の店舗数は前期末比10店純増の4,939店となりました。

※新店日販・店舗数は単体ベース

Q.次期（2010年2月期）の見通しは?

さらなる「質」の重視と「量」の確保

次期は、店舗の採算性を最優先した出店を継続し、さらなる「質」の重視を徹底してまいります。今夏を目処に1号店を開店する福岡県への出店を含め、次期の出店数は当期より25店多い290店を計画しています。また、「ベンチャー社員制度」や3店舗目からのロイヤルティを優遇する「複数店経営優遇制度」を活用し、加盟候補者の安定的な確保を図ります。なお、閉店数は270店を予定しており、2010年2月期末の店舗数は前期末比20店純増の4,959店になる見込みです。

※店舗数は単体ベース

? 福岡県はどんな県?

福岡県は、総人口が500万人を超える九州地方で最も人口の多い県です。また、2009年2月末時点で福岡県には1,613店※のコンビニエンスストアが展開されています。当社は、福岡県では後発チェーンとなりますが、立地ごとにイートインコーナーの設置や焼きたてパンなどの様々な品揃え、サービスの展開により、競合他社との差別化を図ってまいります。

（※出典：株式会社商業界 発行「月刊コンビニ2009年4月号」都道府県別店舗数より、15チェーン合計）

都道府県別店舗数：

37都道府県　6,166店（2009年2月28日現在）

									北海道 0/203	
					石川 103/76				青森 108/64	岩手 8/82
沖縄		山口	島根	鳥取	京都 102/52	福井 46/17			秋田 26/80	宮城 0/114
			広島 4/43	岡山 86/46	兵庫 52/122	滋賀 50/7	富山 70/78	新潟 91/0	山形 0/52	福島 0/22
佐賀	福岡				大阪 158/251	岐阜 226/19	長野 123/0	群馬 0/11	栃木 0/36	茨城 0/49
長崎	大分	愛媛 94/55	香川 14/61		奈良 47/39	愛知 834/196	山梨	埼玉 0/172	東京 86/573	
熊本 0/23	宮崎	高知 29/28	徳島 11/73		和歌山 20/0	三重 185/32	静岡 283/38	神奈川 142/188		千葉 0/186
	鹿児島 0/80									

左：サークルK店舗数 / 右：サンクス店舗数（単位：店）

（注）上記はエリアフランチャイザーの店舗数を含んでいます。なお、「99イチバ」（61店）の店舗数は含んでいません。

3 連結業績

Q.当期（2009年2月期）の連結業績は?

増収増益を達成

既存店売上高前年比の伸長に加え、新店日販の大幅な改善により、当期のチェーン全店売上高は前期比4.2%増加しました。売上の好調で加盟店からの収入などが増加したことにより、営業総収入は前期比3.4%増となり、営業総利益は前期を1.9%上回りました。これらの結果、営業利益は230億9百万円と前期を9.1%上回り、経常利益は前期比15.9%増の225億6千6百万円、当期純利益でも前期比10.0%増の94億3千5百万円と増益を達成することができました。

連結業績ハイライト　（単位：百万円）

	09／2期	前期比
チェーン全店売上高	940,232	+4.2%
営業総収入	213,398	+3.4%
営業総利益	138,285	+1.9%
営業利益	23,009	+9.1%
経常利益	22,566	+15.9%
当期純利益	9,435	+10.0%

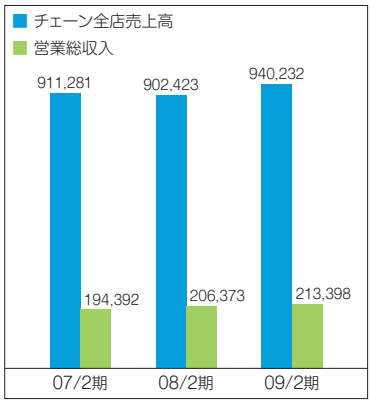
3ヵ年計画の修正（2009年2月期～2011年2月期）

昨年4月に発表した3ヵ年計画では、新システム・サービス機器導入に伴う関連費用の増加により、当期は減益を見込んでいました。しかしながら、taspo（タスポ）カード対応の成人識別たばこ自動販売機の導入に伴うたばこの売上伸長や客数の増加に加え、主力オリジナル商品の好調により、当期の連結業績は計画を大幅に上回ることができました。これらを踏まえ、次期以降の計画を右記の通り修正しました。大型システム投資に関わる費用の増加により、次期の減益計画に変更はありませんが、今後も営業力の強化や利益体質への変革に努め、2011年2月期には増益基調回復を目指してまいります。

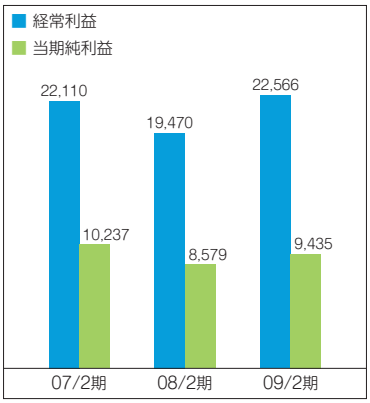
3ヵ年計画（修正後）　（単位：百万円）

	09／2期（実績）	10／2期（修正）	11／2期（修正）
チェーン全店売上高	940,232	960,110	983,880
営業総収入	213,398	212,120	221,880
営業利益	23,009	20,470	20,920
経常利益	22,566	19,200	19,270
当期純利益	9,435	9,100	9,190
総投資額	37,307	30,570	27,050

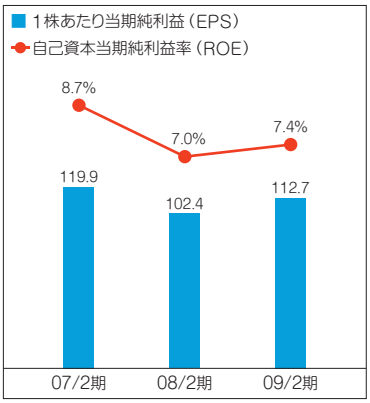
チェーン全店売上高／営業総収入
（単位：百万円）



経常利益／当期純利益
（単位：百万円）



1株あたり当期純利益（EPS）／自己資本当期純利益率（ROE）
（単位：円）



カンボジアに6校目の「みんなの夢学校」が開校

当社は2003年度より毎年、企業活動から得られる利益の一部を特定非営利活動法人「JHP・学校をつくる会」へ寄託し、カンボジアに小・中学校の校舎を建設する活動を支援しています。2008年度は、スワイロミエット中学校（愛称：『みんなの夢学校』）の校舎を建設しました。当社が建設した小・中学校は、これで6校目となり、約3,600人の子どもたちが勉強に励んでいます。

建設されたスワイロミエット中学校

今年もカンボジアに新しい学校ができました!!

カンボジアでは、全人口の45%を子どもが占めています。教育はポルポト政権時代に破壊され、校舎だけでなく、教師も教材も信じられないほど不足しており、カンボジアには勉強をしたくてもできない子どもたちが沢山います。当社は、2003年度からカンボジアの学校建設を支援していますが、今回寄贈したスワイロミエット中学校は、首都プノンペンから車とフェリーで約1時間半の郊外に建設した学校です。

今回、私は贈呈式のため、初めてカンボジアを訪れましたが、恵まれない境遇にあっても明るく輝く瞳を持った子どもたちには、まず教育が大切だと改めて痛感しました。我々にできることはごくわずかですが、カンボジアが将来にわたり平和で豊かな国であり続けるために、今後も学校建設事業のお手伝いをさせていただきたいと考えております。

常務取締役経営戦略室長
安藤 照康

2009年2月
贈呈式の様子

左：当社常務取締役経営戦略室長 安藤 照康
右：カンボジア王国財務省長官 オン・ポアンモニロット氏

子どもたちに文房具をプレゼント

ユニフォームでリサイクル推進

2008年6月に一新した店舗ユニフォームは、従来と同様にペットボトルをリサイクルしてできた再生糸100%の生地を使用しました。一方、不要になった旧ユニフォームはいったん繊維に戻し、マイバッグ約32万枚を製作し、2009年5月にお客様に無償配布いたしました。ユニフォームをリサイクルして完結するのではなく、マイバッグとしてお客様に還元する試みは、コンビニエンスストア業界で初めての試みとなりました。

要約財務諸表

連結子会社

2008年2月期と2009年2月期の連結子会社6社のうち、サンクス青森（株）、サンクス西埼玉（株）、（株）サンクス北関東、サンクス西四国（株）の4社は当社のエリアフランチャイザーです。また、（株）ゼロネットワークスはATMサービス「ゼロバンク」や「バンクタイム」の運営受託を行っており、（株）99イチバは99円の価格帯を中心とした生鮮ミニスーパーを展開しています。なお、2010年2月期には、店舗への人材派遣業務を行う（株）リテイルスタッフが1社加わるため、連結子会社は7社になります。

ソフトウェア

2009年2月期に導入を完了した新ストアコミュニケーションサーバーのほか、店頭マルチメディア端末「カルワザステーション」などの導入に伴うソフトウェア開発により、2009年2月期末残高は前期末に比べ37億4千9百万円増加し75億9千3百万円となりました。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2009年2月期 2009年2月28日現在	2008年2月期 2008年2月29日現在	増減
［資産の部］			
流動資産	**92,328**	**94,243**	**△1,915**
現金及び預金	51,993	52,736	△742
加盟店貸勘定	3,542	3,208	334
有価証券	17,023	17,026	△3
たな卸資産	2,494	2,542	△47
前払費用	4,036	3,905	130
繰延税金資産	1,288	1,050	238
未収入金	7,575	9,697	△2,121
その他	4,724	4,425	299
貸倒引当金	△351	△348	△2
固定資産	**129,976**	**124,577**	**5,399**
有形固定資産	**49,572**	**47,355**	**2,217**
建物及び構築物	35,263	33,648	1,614
機械装置及び運搬具	10	16	△6
器具及び備品	4,989	3,864	1,124
土地	8,504	8,816	△311
建設仮勘定	805	1,009	△204
無形固定資産	**12,088**	**8,402**	**3,686**
ソフトウェア	7,593	3,844	3,749
ソフトウェア仮勘定	1,222	1,511	△289
のれん	—	58	△58
その他	3,272	2,988	283
投資その他の資産	**68,315**	**68,819**	**△504**
投資有価証券	4,949	4,798	151
繰延税金資産	3,275	4,159	△884
長期差入保証金	52,935	52,781	153
その他	8,636	8,567	68
貸倒引当金	△1,481	△1,488	6
資産合計	**222,305**	**218,821**	**3,484**

（単位：百万円）

	2009年2月期 2009年2月28日現在	2008年2月期 2008年2月29日現在	増減
［負債の部］			
流動負債	**77,091**	**78,451**	**△1,359**
買掛金	34,281	36,088	△1,807
加盟店借勘定	2,038	2,496	△458
未払金	8,129	5,862	2,266
未払法人税等	4,474	3,304	1,169
預り金	24,930	26,630	△1,700
賞与引当金	826	771	55
役員賞与引当金	37	47	△10
ポイント引当金	57	80	△22
その他	2,317	3,169	△852
固定負債	**14,556**	**15,738**	**△1,181**
退職給付引当金	374	708	△333
債務保証損失引当金	—	136	△136
預り保証金	10,978	11,096	△118
リース資産減損勘定	818	914	△96
その他	2,386	2,882	△496
負債合計	**91,648**	**94,189**	**△2,540**
［純資産の部］			
株主資本	**130,166**	**124,084**	**6,082**
資本金	8,380	8,380	—
資本剰余金	36,093	36,093	△0
利益剰余金	90,721	84,636	6,085
自己株式	△5,028	△5,025	△2
評価・換算差額等	**489**	**523**	**△33**
その他有価証券評価差額金	489	523	△33
少数株主持分	**—**	**24**	**△24**
純資産合計	**130,656**	**124,631**	**6,024**
負債純資産合計	**222,305**	**218,821**	**3,484**

買掛金

買掛金とは、仕入先との取引で発生した営業上の当社の未払金（債務）のことをいいます。2008年2月の閏年に対し、2009年2月は1日少なかったため、2009年2月期末の買掛金は前期末に比べ18億7百万円減少しました。

ポイント引当金

サークルKまたはサンクスの店舗において、電子マネーを搭載した当社オリジナルの「KARUWAZA CLUBカード」でお買い上げいただくと、100円につき1ポイントを差し上げています。貯まったポイントはパソコンや携帯電話から当社ホームページで、当社店舗にてお使いいただける金券などと交換できるほか、現在導入を進めている店頭マルチメディア端末「カルワザステーション」でもポイントの確認・交換ができます。これらポイントの使用に備えるため、当期において将来使用されると見込まれる額をポイント引当金として5千7百万円計上しました。

営業収入、売上高

営業収入は加盟店から受領するロイヤルティ収入が約9割を占め、その他はエリアフランチャイザーからの収入や不動産賃貸収入です。売上高には自営店売上高に加え、99イチバの売上高、ゼロネットワークスの営業総収入が含まれています。当期は、加盟店からの収入増加により、営業収入は1,157億6千1百万円の前期比1.6%増、売上高は976億3千6百万円の前期比5.6%増となりました。

販売費及び一般管理費

新システム・サービス機器導入に伴う減価償却費などの関連費用が増加しましたが、経費削減により、広告・販促費が前期に比べ19億7千5百万円減少しました。その結果、販売費及び一般管理費は1,152億7千6百万円と前期比0.5%増にとどまりました。

営業外費用、特別損失

不採算店舗の整理を進めた前期に比べ、当期は閉店数が201店減少したことにより、閉店に関わる費用が減少しました。閉店に関わる費用のうち、営業外費用に計上の解約損害金が前期に比べ11億7千6百万円減少したほか、特別損失に計上の固定資産処分損およびリース解約損はあわせて10億9千7百万円減少しました。

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2009年2月期 2008年3月1日から 2009年2月28日まで	2008年2月期 2007年3月1日から 2008年2月29日まで	増減
営業収入	115,761	113,898	1,862
売上高※	97,636	92,474	5,161
営業総収入	**213,398**	**206,373**	**7,024**
売上原価	75,112	70,614	4,497
営業総利益	**138,285**	**135,758**	**2,527**
販売費及び一般管理費	115,276	114,662	613
営業利益	**23,009**	**21,095**	**1,913**
営業外収益	1,432	1,438	△6
営業外費用	1,875	3,063	△1,188
経常利益	**22,566**	**19,470**	**3,095**
特別利益	409	1,548	△1,139
特別損失	5,019	5,779	△759
税金等調整前当期純利益	**17,956**	**15,239**	**2,716**
法人税、住民税及び事業税	7,876	7,265	610
法人税等調整額	668	△503	1,172
少数株主利益（△：損失）	△24	△101	77
当期純利益	**9,435**	**8,579**	**855**

※自営店の売上高で、加盟店売上高は含まれていません。

設備投資

当期の設備投資の状況は、新店投資が前期に比べ2億5千3百万円減少した一方、新システム・サービス機器の導入が当期より本格化したことにより、システム関連投資は61億4千5百万円増加しました。この結果、設備投資額の合計は、56億5千3百万円増の263億5千8百万円となりました。

投資の状況（連結ベース）

（単位：百万円）

	08／2期	09/2期	10/2期（予）
新店投資	12,894	12,641	13,010
既存店投資	2,668	2,953	2,350
システム関連投資	4,402	10,547	5,160
本部関連投資	741	215	710
設備投資計①	**20,705**	**26,358**	**21,230**
リース対応分②	13,992	10,949	9,340
総投資額（①＋②）	**34,697**	**37,307**	**30,570**

連結株主資本等変動計算書

2009年2月期 (2008年3月1日から2009年2月28日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
2008年2月29日残高	**8,380**	**36,093**	**84,636**	**△5,025**	**124,084**	**523**	**523**	**24**	**124,631**
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△3,350		△3,350				△3,350
当期純利益			9,435		9,435				9,435
自己株式の取得				△4	△4				△4
自己株式の処分		△0		2	1				1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△33	△33	△24	△57
連結会計年度中の変動額合計	**—**	**△0**	**6,085**	**△2**	**6,082**	**△33**	**△33**	**△24**	**6,024**
2009年2月28日残高	**8,380**	**36,093**	**90,721**	**△5,028**	**130,166**	**489**	**489**	**—**	**130,656**

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2009年2月期 2008年3月1日から 2009年2月28日まで	2008年2月期 2007年3月1日から 2008年2月29日まで	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,525	21,262	1,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,731	△15,791	△6,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,640	△4,168	528
現金及び現金同等物の増減額	**△3,846**	**1,303**	**△5,149**
現金及び現金同等物の期首残高	**66,763**	**64,957**	**1,805**
新規連結子会社の増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	**—**	**502**	**△502**
現金及び現金同等物の期末残高	**62,916**	**66,763**	**△3,846**

現金及び現金同等物の期末残高

売上の好調により税金等調整前当期純利益が前期比27億1千6百万円増加したことから、営業活動によるキャッシュ・フローは前期に比べ12億6千2百万円増加しました。一方、新システム・サービス機器導入に伴う投資の増加などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは前期比69億4千万円支出増の△227億3千1百万円となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは△36億4千万円でした。この結果、2009年2月期の現金及び現金同等物の期末残高は前期に比べ38億4千6百万円減少し、629億1千6百万円となりました。

個別貸借対照表

（単位：百万円）

	2009年2月期 2009年2月28日現在	2008年2月期 2008年2月29日現在
［資産の部］		
流動資産	**90,461**	**92,848**
固定資産	**126,484**	**122,018**
有形固定資産	46,645	44,279
無形固定資産	12,002	8,258
投資その他の資産	67,835	69,480
資産合計	**216,945**	**214,867**
［負債の部］		
流動負債	**72,453**	**74,080**
固定負債	**14,119**	**15,302**
負債合計	**86,572**	**89,383**
［純資産の部］		
株主資本	**129,883**	**124,959**
資本金	8,380	8,380
資本剰余金	36,093	36,093
利益剰余金	90,438	85,511
自己株式	△5,028	△5,025
評価・換算差額等	**489**	**524**
その他有価証券評価差額金	489	524
純資産合計	**130,373**	**125,483**
負債純資産合計	**216,945**	**214,867**

個別損益計算書

（単位：百万円）

	2009年2月期 2008年3月1日から 2009年2月28日まで	2008年2月期 2007年3月1日から 2008年2月29日まで
営業総収入	**190,814**	**189,247**
売上原価	59,741	59,457
営業総利益	**131,072**	**129,789**
販売費及び一般管理費	107,889	108,313
営業利益	**23,183**	**21,476**
営業外収益	1,346	1,373
営業外費用	2,550	3,147
経常利益	**21,979**	**19,702**
特別利益	409	1,536
特別損失	5,569	6,040
税引前当期純利益	**16,819**	**15,198**
法人税、住民税及び事業税	7,755	7,119
法人税等調整額	786	△569
当期純利益	**8,277**	**8,648**

個別株主資本等変動計算書

2009年2月期（2008年3月1日から2009年2月28日まで）

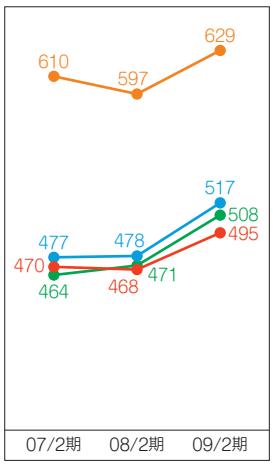
（単位：百万円）

	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計					
						別途積立金	繰越利益剰余金						
2008年2月29日残高	8,380	36,090	3	36,093	687	76,221	8,602	85,511	△5,025	124,959	524	524	125,483
事業年度中の変動額													
剰余金の配当							△3,350	△3,350		△3,350			△3,350
当期純利益							8,277	8,277		8,277			8,277
自己株式の取得									△4	△4			△4
自己株式の処分			△0	△0					2	1			1
別途積立金の積立						3,500	△3,500	—		—			—
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）											△34	△34	△34
事業年度中の変動額合計	—	—	△0	△0	—	3,500	1,427	4,927	△2	4,924	△34	△34	4,890
2009年2月28日残高	8,380	36,090	2	36,093	687	79,721	10,029	90,438	△5,028	129,883	489	489	130,373

コンビニエンスストア業界比較

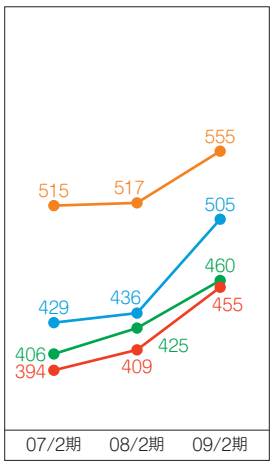
全店日販
1日1店あたり平均売上高

（単位：千円）



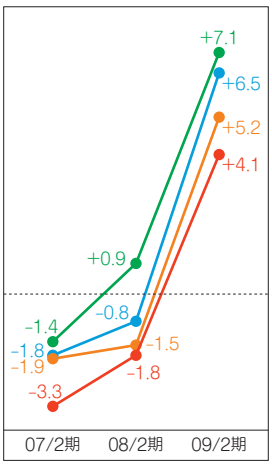
新店日販
新店（＝開店後1年以内の店）の1日1店あたり平均売上高

（単位：千円）



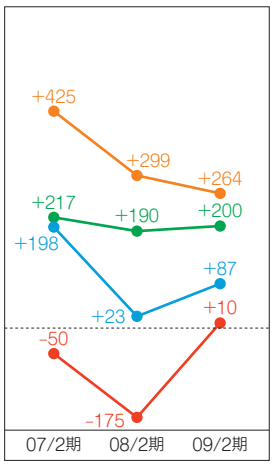
既存店売上高前年比
既存店（＝開店後1年以上経過した店）の売上高前年比

（単位：%）



店舗純増減数

（単位：店）



サークルKサンクス　セブン-イレブン　ローソン　ファミリーマート

全店日販

09／2期はtaspoカード導入に伴う売上の好調もあり、4社ともに08／2期を大きく上回りました。08／2期との比較では、セブン-イレブンが3万2千円増の62万9千円となったほか、ローソンが3万9千円増の51万7千円、ファミリーマートが3万7千円増の50万8千円、サークルKサンクスが2万7千円増の49万5千円となりました。

既存店売上高前年比

08／2期はファミリーマートを除く3社が前期比マイナスとなっていましたが、09／2期ではたばこの売上伸長やその他の商品の好調もあり、全社とも大幅な改善を図ることができました。ファミリーマートが+7.1%と最も伸長したほか、セブン-イレブンが+5.2%、ローソンが+6.5%、サークルKサンクスが+4.1%となりました。

新店日販

09／2期の4社の新店日販は前期を大幅に上回りました。08／2期比では、ローソンが6万9千円増と最も伸長したほか、セブン-イレブンは3万8千円増、ファミリーマートは3万5千円増となりました。サークルKサンクスは4万6千円増となり、08／2期に比べ大きく新店の質を改善することができました。

店舗純増減数

09／2期は、4社ともに店舗数純増となりました。なお、09／2期末のエリアフランチャイザーを除く国内の店舗数は、セブン-イレブン12,298店、ローソン8,674店、ファミリーマート6,891店、サークルKサンクス4,939店でした。

コンビニエンスストア（CVS）業界データ　（単位：億円）

	2006年	2007年	2008年
CVS業界売上高	73,990	74,895	79,427
（上位4社売上高占有率）	79.1%	79.6%	80.6%
CVS業界店舗数	40,183	40,405	40,745
（上位4社店舗数占有率）	79.4%	79.8%	80.5%

（注）1. 各社実績は、各社のホームページにて開示の決算発表資料より引用しました。
2. コンビニエンスストア業界売上高および店舗数は、「経済産業省商業販売統計速報」（2009年3月27日公表）より引用しました。
3. 上位4社売上高・店舗数占有率は、業界4位内の各社を各期毎に合計したもので算出し、エリアフランチャイザーの数値を除いております。

コンビニエンスストア業界の動向

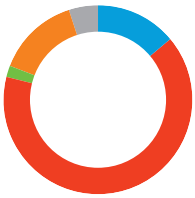
コンビニエンスストア業界全体の売上高は毎期伸長しており、2008年には前年比6%増の7兆9,427億円となりました。また、業界全体の売上高に占める09／2期の上位4社の売上高占有率は80.6%となったほか、業界全体の店舗数に対する占有率も80.5%となり、上位4社による寡占化がより進む結果となりました。

株主様アンケート結果のご報告

2009年2月期中間期「WAKUWAKU !株主通信」において、アンケートを実施させていただきましたところ、1,516名の方よりご回答をお寄せいただきました。回答数は株主数の減少により36通下回りましたが、回答率は過去最高となりました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

Q1. 今後、当社株式についてどのような方針をお持ちですか?

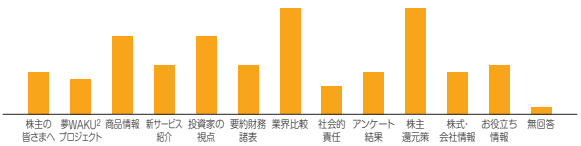
2008年2月期と比べ「売却」が1ポイント、「無回答」が2ポイント減少しましたが、「長期保有」は6ポイント増加しました。



買い増し	14%
長期保有	65%
売却	2%
未定	14%
無回答	5%

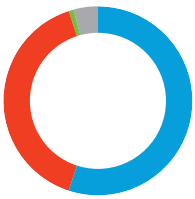
Q2.「WAKUWAKU !株主通信」で興味を持たれた項目は?

「コンビニエンスストア業界比較」と「株主還元策」の2項目が群を抜いて高い評価をいただきました。また、前回の株主通信では商品をご紹介するページを充実させたことにより、約8割の株主様から「店舗に行ってみたい」という大変嬉しいご回答をいただきました。今後も株主通信のさらなる充実を図ってまいります。



Q3. 当社IRについて、どう思われますか?

2008年2月期と比べ「良い」のご評価が7ポイント増加し、55%となりました。「良い」理由としては「WAKUWAKU !株主通信が分かりやすくまとまっている」や「必要な情報が開示されている」などのご意見を頂戴しました。

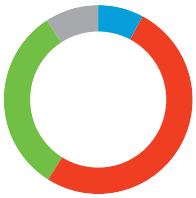


良い	55%
普通	40%
悪い	1%
無回答	4%

■オリジナルパスタ「rubetta」の感想

Q4. 株主通信を見てrubetta(ルベッタ)を試されたいと思いましたか?

昨年10月に立ち上げた新パスタブランド「rubetta(ルベッタ)」をすでにお試しになった方は8%にとどまりましたが、半数以上の方に「試してみたい」とご回答いただきました。

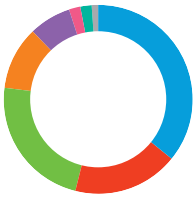


すでに試した	8%
はい	51%
いいえ	32%
無回答	9%

Q5. ルベッタを試されて良かった点は?

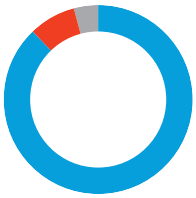
すでに試された方からのルベッタへの評価は「味が良い」が36%と最も高く、また、「もう一度購入したい」とのご回答が88%と非常に高い評価をいただきました。P.3でご紹介した通り、この春夏も新メニューとして冷製パスタをはじめ、様々なこだわりの本格パスタをご提案してまいりますので、株主の皆さまにお試しいただければ幸いです。

A. 良かった点は何ですか?



味	36%
見た目	18%
価格	23%
品揃え	11%
CM・広告	7%
特にない	2%
その他	2%
無回答	1%

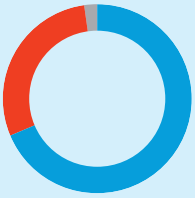
B. もう一度このシリーズを買ってみたいと思われますか?



はい	88%
いいえ	8%
無回答	4%

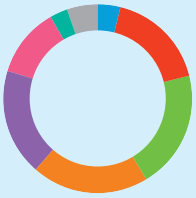
■ 回答者の属性

性別



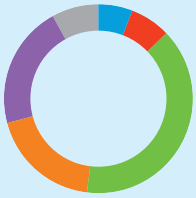
男性	68%
女性	29%
無回答	2%

年齢



20代以下	4%
30代	17%
40代	20%
50代	20%
60代	18%
70代	12%
80代以上	3%
無回答	5%

株式の保有期間



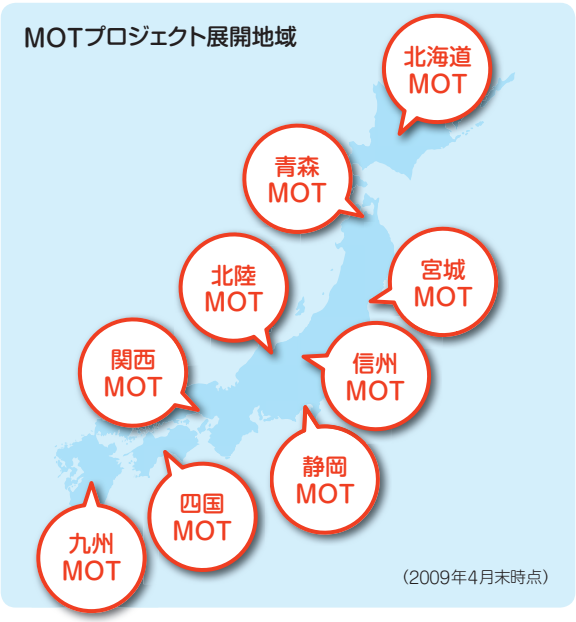
半年未満	6%
半年～1年未満	7%
1～3年未満	39%
3～5年未満	19%
5年以上	21%
無回答	8%

■ ご質問・ご要望より

Q. 地産地消をさらに推進していってください。

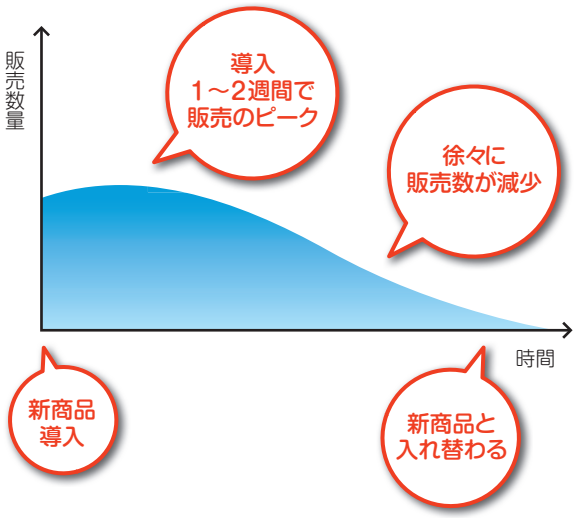
サークルKサンクスでは、地域の生産者や行政と連携して地域のオリジナル商品を開発し、地産地消を推進する「MOT（もっと）プロジェクト」に取組んでいます。2007年に開始したこの取組みは、2009年4月には9地域にまで広がりました。2009年2月期には生産者や行政だけではなく、各地域の大学とも共同で商品開発に取組んだほか、北陸で高い支持を得た「寿司むすび」シリーズを全国で発売しました。今後もこの取組みを順次全国へ拡大し、地元の食材をより身近な地元の味で提供し、地産地消を推進してまいります。

MOTプロジェクトは順次全国へ拡大中です!



Q. 商品紹介のページをもっと充実させて欲しい。

コンビニエンスストアには約2,500～3,000アイテムの商品が品揃えされていますが、その内の大半の商品が1年間で入れ替わります。このような商品の入れ替えを「商品改廃」と呼び、これを繰り返し行うことで常にお客様のニーズにお応えできる品揃えを維持しています。株主通信の誌面でご紹介できるのは、当社の比較的大きな施策商品など、ほんの一例にすぎませんが、より鮮度の高い商品情報については、2008年10月に全面リニューアルを実施した当社ホームページで楽しくご覧になることができます。



Q. 車で走っていると何店舗もサークルK店・サンクス店を見かけるが、店舗の出店場所が偏っているのでは?

ある一定の地域内に集中的に出店を行うことで経営効率を高め、その地域の同業他社に対して優位性を打ち出すフランチャイズ出店戦略をドミナント出店といいます。チェーン全体の認知度を高めることができるため、一店舗ごとの売上も向上します。その他にも、物流コストの削減や効率的な広告宣伝の実施など様々なメリットがあります。

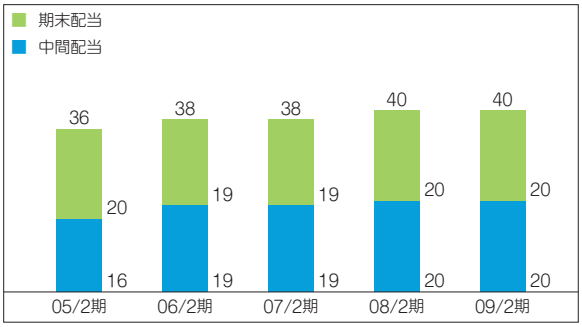
株主還元策

株主還元策の基本方針

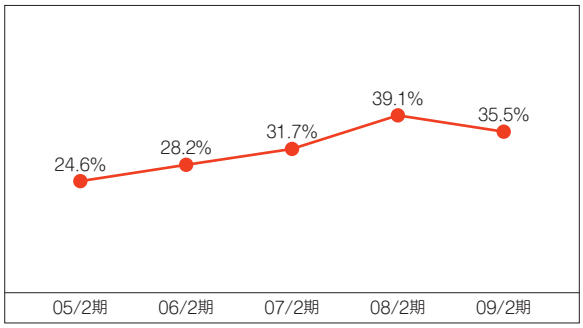
当社は、株主様に対する利益還元について、配当政策を最も重視しています。将来の事業成長を維持するのに必要な経営基盤を強化するため、内部留保を充実させながら、利益の成長に応じて株主の皆さまに利益還元を行うことを基本方針としています。具体的には、安定配当の維持を第一に考えながら、連結配当性向30%以上を目処に、中期的な収益環境、設備投資計画および財政状態を見極めながら株主還元を実施してまいります。上記の基本方針に基づき、2009年2月期の期末配当金を20円とし、年間配当は40円とさせていただきました。この結果、配当性向は35.5%となりました。なお、内部留保につきましては店舗システム関連投資に備えることに加え、新店の開発や既存店の活性化、新規商品の什器設備などの投資に充てる予定です。

配当金

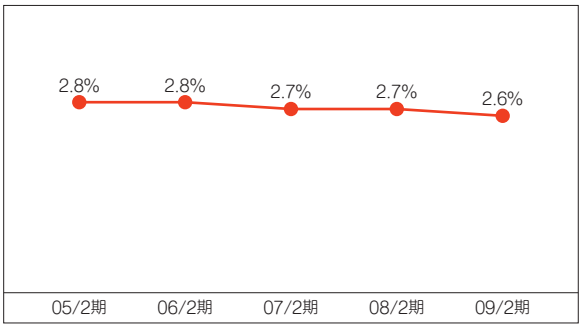
（単位：円）



配当性向



純資産配当率（DOE）



株主優待制度

当社ではサークルK・サンクス全店でご利用いただける「株主様ご優待カード」を右表の通り株数に応じて年2回進呈しています。下記※を除くすべての商品のお支払いにご利用いただけます。お近くに店舗のない株主様には大変ご不便をおかけいたしますが、約1年間有効ですので、出店地域へお出かけの際にご利用いただければ幸いです。今回の株主様ご優待カードは、2008年10月に全面リニューアルを実施した当社ホームページ内サイト「WAKUWAKUタウン」をモチーフにデザインしました。当社ホームページには、オリジナルブランドを中心に、毎週発売される新商品やお得なキャンペーン情報などを満載していますので、ぜひご覧下さい。

サークルKサンクス　ホームページURL
http://www.circleksunkus.jp/

有効期限の詳細については裏表紙のカレンダーをご参照下さい。
なお、有効期限を過ぎたカードはご利用いただけませんのでご了承下さい。
※「株主様ご優待カード」をご利用いただけないもの
- 公共料金や通信販売代金などの料金収納
- 電子マネーEdyへのチャージ（入金）

ご所有株式数	株主優待内容
100～499株	1,000円分（年2,000円分）
500～999株	2,500円分（年5,000円分）
1,000株以上	5,000円分（年10,000円分）

株式情報／会社情報（2009年2月28日現在）

株式構成比

株主構成比

（注）1.（　）内は08/2期末比です。
2. 個人等には、役員、社員持株会および自己株式を含みます。

株主数の推移（単位：名）

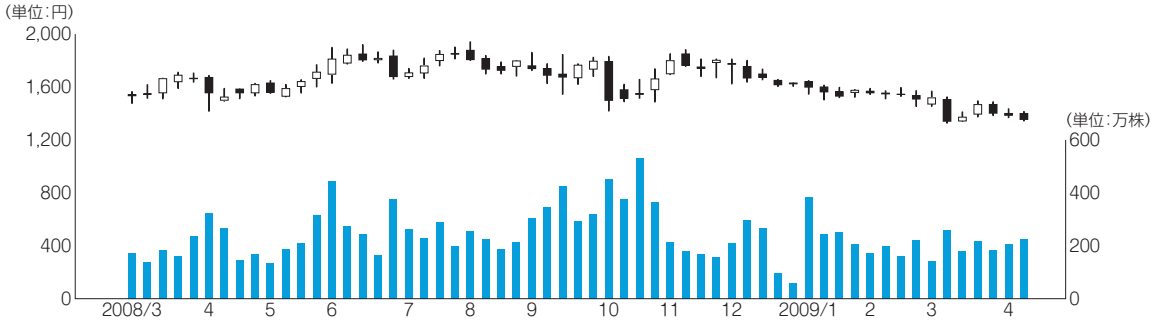
株主数は前期末より363名減少しました。これに伴い、株主構成比の「個人等」は0.2ポイント減となりました。また、株式構成比では「外国法人等」が2.2ポイント減少した一方、「金融機関」は2.9ポイント増加しました。

大株主（上位10位）

	株主名	持株数（株）	持株比率
1	ユニー株式会社	40,748,372	47.28%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,582,100	8.80%
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,726,800	2.00%
4	モルガン・スタンレー アンド カンパニー インク	1,605,651	1.86%
5	BNY GCM クライアント アカウント JPRD AC ISG (FE-AC)	1,441,232	1.67%
6	資産管理サービス信託銀行株式会社	1,329,200	1.54%
7	メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	863,014	1.00%
8	ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ピービー ノントリティー クライアンツ 613	815,753	0.95%
9	リーマンブラザーズ インターナショナル（ヨーロッパ）	753,115	0.87%
10	ステートストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	617,675	0.72%

（注）当社は自己株式2,427,385株を所有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

株価および出来高の推移



会社概要

商号	株式会社サークルKサンクス
本部所在地	〒104-8538 東京都中央区晴海2-5-24 晴海センタービル
電話番号	03-6220-9000（代表）
登記上本店所在地	愛知県稲沢市天池五反田町1番地
ホームページアドレス	http://www.circleksunkus.jp/
設立	2001年7月2日（注）
資本金	83億8,040万円
発行済株式総数	86,183,226株
銘柄コード	3337 サークルKS
従業員数	1,739名

（注）サークルKサンクスの前身であるサークルケイ・ジャパン株式会社が、持株会社の株式会社シーアンドエス発足に伴い会社分割した日です。会社分割前のサークルケイ・ジャパン株式会社は1984年1月26日に設立されております。

役員のご紹介（2009年5月20日現在）

取締役会長	土方（ひじかた） 清（きよし）
代表取締役社長	中村（なかむら） 元彦（もとひこ）
常務取締役（経営戦略室長）	安藤（あんどう） 照康（てるやす）
取締役（エリアFC本部長）	髙橋（たかはし） 一夫（かずお）
取締役（総務人事本部長 兼 システム本部長）	山田（やまだ） 克巳（かつみ）
取締役（経理財務本部長）	山口（やまぐち） 利隆（としたか）
取締役（非常勤）	佐々木（ささき） 孝治（こうじ）
常勤監査役	髙須（たかす） 邦夫（くにお）
常勤監査役	吉城（よしき） 正明（まさあき）
監査役	春木（はるき） 英成（ひでしげ）
監査役	吉田（よしだ） 龍美（たつみ）

（注）1. 取締役 佐々木孝治は社外取締役です。
2. 監査役 春木英茂、吉田龍美は社外監査役です。

株主様お役立ち情報

株主様カレンダー

2009.5.20
第8回定時株主総会
および事業説明会開催
①配当関係書類
②株主様ご優待カード
③本冊子を発送

2009.5.21
配当金振り込みの方
↓
本日付でご指定の口座へ
振り込まれます

2009.5.21－6.22
配当金領収証受け取りの方
↓
ゆうちょ銀行および郵便局で
お受け取りになれます
（6.23以降はお近くの
住友信託銀行にて
お受け取り下さい）

2009.5.31
株主様ご優待カード
ご利用最終日
（08年春発行分）

優待カードの
ご利用は
お早めに！

2009.6月下旬（予定）
10年2月期第1四半期
決算発表

2009.8.14－8.31
単元未満株式買増し
手続き停止期間

2009.8.25
サークルKサンクス
権利付株式最終売買日
↓
8.26－8.31に当社株を
ご購入されても、
09年8月末における配当・
優待の権利は得られません

2009.8.31
10年2月期中間期末

2009.10月上旬（予定）
10年2月期中間決算発表

2009.11.30
株主様ご優待カード
ご利用最終日
（08年秋発行分）

優待カードの
ご利用は
お早めに！

2009年2月期期末配当：1株あたり20円

お支払い金額＝20円×ご所有株式数×0.9

（×0.9は源泉徴収税として
10%が引かれるため
※法人の場合は除く）

単元未満株式買増し制度

単元（100株）未満株式の買増し制度により、例えば現在30株をお持ちの場合、70株を買増して100株にすることが可能です。下記の受付停止期間を除いて1年中いつでも買増しいただけます。手続きの詳細は、株式のご所有形態によって異なりますので、下記までお尋ね下さい。

◆ **受付停止期間**
本決算および中間決算の期末日を含む各々それ以前の12営業日
（上記カレンダーご参照）
※当社が売り渡すべき株式を保有していない場合、ご請求に応じられないことがあります。

◆ **お問い合わせ先**
保管振替制度をご利用の方
→お取引の証券会社

登録株となっている方
→住友信託銀行（右記「株主メモ」ご参照）

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会: 毎年2月末日 期末配当: 毎年2月末日 中間配当: 毎年8月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所および名古屋証券取引所市場第一部

公告方法
電子公告。ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
（インターネットホームページURL）
http://www.circleksunkus.jp/company/investor/announce/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所
東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） 0120-176-417
（インターネットホームページURL）
http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

この冊子は再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOYINK
このカタログは環境にやさしい大豆インキを使用しています